

平和行動 in根室

9月24日～26日の日程で「平和行動in根室」が開催され、
 連合群馬から20名が参加しました。

根室でのフィールドワークでは語り部による講演やロシア文化の紹介、連合が取り組んでいるビザなし交流の報告などがありました。

また、納沙布岬で行われた平和集会では元島民の代表から早期返還を求める痛切な訴えがあり、最後に2350名の参加者全員によって北方四島返還コールが行われ、返還実現まで運動を継続することを確認しました。



日清紡労組館林工場支部 鶴田綾子 (UIゼンセン同盟)

『近くて遠い島』忘れられない言葉です。見えるのに行くことが出来ない、自分の故郷が見えているのに行くことが出来ない。そんなつらい現実があるのだと痛感させられました。一日でも早く誰でも島へ行き来できるように願っています。

信越化学労組磯部支部 町田文彦 (化学総連)

領土返還は元島民の方、漁業関係者だけの問題ではなく日本国民すべての問題であること。そして領土返還は私たちの声で国を動かさなければ実現しないとの認識に立ち、返還が実現するまで、このような平和運動・行動を継続しなければならぬと強く感じました。

第4回セレクトセミナー 2005平和学習会を開催

10月15日前橋問屋センターで「2005平和学習会」を開催し、産別・地協、議員懇などから153名が参加しました。

はじめに沖縄平和行動の自動車総連・山岸稔さん、広島親子平和行動の電機連合・夏神さん親子で夏神朋宏君(中学3年)、広島平和行動の女性委員会より参加の全国一般・福田恵美さん、長崎平和行動の電力総連・諸田聡士さん、根室平和行動の渋川地協より参加のJEC連合・林雅之さんから各平和行動の報告を行い、それぞれの地で起こった戦争の傷跡や今でも続く領土問題の実態などを見てきたことについて、「2度と戦争を起こしてはいけない、このような取り組みを継続して続けていくことが必要」などの感想が報告されました。

連合群馬 平和学習会



平和行動報告者 左から林さん、諸田さん、福田さん、夏神君、山岸さん

次に広島県原爆被害者団体協議会理事長の坪井直氏から「被爆体験から平和を考える」と題して、原爆投下の8月6日に坪井さん自身が被爆したことを中心に、平和の大切さについて講演が行なわれました。

また、学習会では新広島平和会館建設資金の募金を行い、28,915円を集約しました。

また、来年度の平和活動に向けて、参加者による折り鶴作成や北方領土返還要求署名などに取り組みました。



予定 連合群馬2005 男女平等フォーラム ～お父さんの仕事と育児を考える～

男女の育児をテーマとした講演および体験発表を行います。女性に限らず、「仕事も育児も大切にしたい…」そんなお父さん、そして、これからお父さんになる若い世代の男性も奮ってご参加ください!

- 日時：2005年12月17日(土) 9:20～
- 場所：群馬建設会館
- 講師：群馬県立女子大学助教授 佐々木 尚毅氏
- 参加者：250名
- 参加費：無料

連合群馬・群馬経営者協会 2006年度新春・労使共同セミナー

21世紀は「環境世紀」。地球温暖化など現代社会の重要な課題が言われています。企業・労働組合が…そしてわれわれ一人ひとりとして何ができるのか。

- 日時：2006年1月19日(木) 15:30～
- 場所：高崎ビューホテル
- 講師：作家 C. W. ニコル氏
- 参加者：労使・関係団体 400名
- 参加費：3000円

編集後記

年次大会の中で、皆さんと、第9期後半期の活動方針について確認しあいました。

目標達成に向けて、目的を常に意識しながら、1年間活動に取り組んでいきたいと思っています。

何より「初心を忘れず」頑張って行きたいと思いますので今後ともよろしくお願いします。(し)

第9期の折り返し点に思う
 第一〇回大会が終了し二〇〇六年度の活動がスタートした。第9期後半期で目指すのは①地域社会に目に見える活動の強化、②未組織労働者の支援強化、③労働運動の存在価値を高める、④社会的影響力を高めるであり、特に①②の取り組みが③④の結果を大きく左右する。

連合群馬の組織改革に着手して四年余り、この間の大会(地方委員会)議案書を見比べると、各地協と各組織の努力の成果が、軌跡の如く一目瞭然に示されている。

地協を中心とした群馬の活動は、本部の地方活動強化方針に先んじた活動であると自負するが、現状に甘んじてはならない。

大会で大橋会長は「現状に留まることは停滞であり、変化をし続けることが必要である。」との挨拶を行なった。労苦と達成感を表裏一体であり、成果を展ばし弱点補強は常の課題である。PDCAは労働運動の十八番(おはこ)であるはずだ。